

ウェディング・ドレスの嗜好性について一考察

小川 秀子

Consideration of Preferences of Wedding Dress

Hideko Ogawa

1 はじめに

本学の人間総合学科、総合コースの教育課程に於いて、ファッション分野の選択授業のひとつとして筆者が担当している、2年次開講の「アパレルデザイン実習Ⅰ・Ⅱ」では、ウェディング・ドレスを毎年課題作品として製作している。

今回は2003年度の報告に引き続き、2007・2008年度に製作した38点のウェディング・ドレスについて、本学の女子短大生を対象に嗜好性の調査を行い、若干の知見を得たので報告する。

2 調査概要

(1) 調査対象者

本学人間総合学科 総合コース1年在学生
「ファッションデザイン論」履修生 2009年度 41名 ・ 2010年度 35名

(2) 調査時期

2009年7月
2010年7月

(3) 調査方法

2007年度製作 ウェディング・ドレス 16点 写真 No.1 ~No.16
2008年度製作 ウェディング・ドレス 22点 写真 No.1 ~No.22

ボディに着装した写真を掲示し質問用紙に直接記入法で回答を得た。アンケートは個人情報特定されないように留意し、回答は自由であることを説明して実施した。

(4) 質問内容 別紙 (表1)

2007年度 作品



No. 1



No. 2



No. 3



No. 4



No. 5



No. 6



No. 7



No. 8



No. 9

2007年度 作品



No.10



No.11



No.12



No.13



No.14



No.15



No.16

2008年度 作品



No. 1



No. 2



No. 3



No. 4



No. 5



No. 6



No. 7



No. 8



No. 9

2008年度 作品



No.10



No.11



No.12



No.13



No.14



No.15



No.16



No.17



No.18

2008年度 作品



No.19



No.20



No.21



No.22

表1 ウェディング・ドレスの嗜好性についての調査

2007年度 ウェディング・ドレス No.1～No.16の中から

2008年度 ウェディング・ドレス No.1～No.22の中から

1. あなたが好きなウェディング・ドレスを3点選んでください。

2007年度 好きな順に 1番好き _____ ・ 2番目に好き _____ ・ 3番目に好き _____

2008年度 好きな順に 1番好き _____ ・ 2番目に好き _____ ・ 3番目に好き _____

2. あなたが嫌いなウェディング・ドレスを3点選んでください

2007年度 嫌いな順に 1番嫌い _____ ・ 2番目に嫌い _____ ・ 3番目に嫌い _____

2008年度 嫌いな順に 1番嫌い _____ ・ 2番目に嫌い _____ ・ 3番目に嫌い _____

3. あなたが選んだドレスについて、該当する評価の位置に○を付けてください。

_____年度 _____番目に好きなドレス No. _____ のドレスの評価

_____年度 _____番目に嫌いなドレス No. _____ のドレスの評価

	非 常 に	や や 通	普 通 に	や や 通	非 常 に	
1. 優しい感じ	+	-	+	-	+	いかめしい感じ
2. 奇抜な感じ	+	-	+	-	+	無難な感じ
3. モダンな感じ	+	-	+	-	+	クラシックな感じ
4. 温かい感じ	+	-	+	-	+	冷たい感じ
5. 上品な感じ	+	-	+	-	+	下品な感じ
6. 派手な感じ	+	-	+	-	+	地味な感じ
7. 個性的な感じ	+	-	+	-	+	一般的な感じ
8. バランスが良い	+	-	+	-	+	バランスが悪い
9. 清楚な感じ	+	-	+	-	+	清楚でない
10. 体にフィットしている	+	-	+	-	+	体にフィットしていない
11. 魅力的な感じ	+	-	+	-	+	魅力的でない
12. 洗練された感じ	+	-	+	-	+	野暮ったい感じ
13. 華やかな感じ	+	-	+	-	+	落ち着いた感じ
14. 体型がカバーできる	+	-	+	-	+	体型がカバーできない
15. デザインが好き	+	-	+	-	+	デザインが嫌い
16. 柔らかい感じ	+	-	+	-	+	堅い感じ
17. 着たい	+	-	+	-	+	着たくない

表2 2007年度 ウェディング・ドレス生地 の名称と組成繊維

ドレスNo.	生地 の名称	組成繊維			
No.1	ブライダルサテン ポリエステルオーガンジー 綿ケミカルレース	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.2	ウェディングサテン ポリエステルオーガンジー エンゼレース	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.3	ブライダルサテン オーガンジーAOレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.4	ブライダルサテン ポリエステルオーガンジー	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.5	ブライダルサテン オーガンジーAOレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.6	ブライダルサテン メロンチュールAOレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル	100%	綿	100%
No.7	ブライダルサテン オーガンジーAOレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.8	ブライダルサテン オーガンジーホログラムキャビア	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.9	ウェディングサテン オーガンジーボーダーレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.10	ブライダルサテン プロケード エレガンスオーガンジー	ポリエステル	100%	ポリエステル	60%
No.11	ブライダルサテン オーガンジースパンコールレース エレガンスオーガンジー	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.12	ブライダルサテン オーガンジースパングル ポリエステルオーガンジー	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.13	ブライダルサテン ビーズレース スパークオーガンジー	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.14	ブライダルサテン ワッシャーオーガンジー エレガンスオーガンジー	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.15	ブライダルサテン オーガンジービーズアップリケレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%
No.16	ブライダルサテン オーガンジーリボンレース オーガンジー	ポリエステル	100%	ポリエステル	100%

表3 2008年度 ウェディング・ドレス生地 の名称と組成繊維

ドレスNo.	生地 の名称	組成繊維
No.1	ウェディングサテン ビーズアップリケレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% 刺繍レーヨン 100% リボン・ビーズ ポリエステル 100% ポリエステル 100%
No.2	ブライダルサテン ラメエンゼレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% 刺繍レーヨン 100% ポリエステル 100%
No.3	ブライダルサテン オーガンジーAOレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% 刺繍レーヨン 100% ポリエステル 100%
No.4	ブライダルサテン コードレース	ポリエステル 100% レーヨン 70% ナイロン 30%
No.5	ブライダルサテン オーガンジーボーダーレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% 刺繍レーヨン 100% ポリエステル 100%
No.6	ブライダルサテン オーガンジースパンコールレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% 刺繍レーヨン 100% ポリエステル 100%
No.7	ブライダルサテン オーロラシフォン	ポリエステル 100% ポリエステル 100%
No.8	ブライダルサテン エンゼレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% 刺繍レーヨン 100% ポリエステル 100%
No.9	ブライダルサテン ラメスレイヤー ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% レーヨン 50% ポリエステル 30% ナイロン 20% ポリエステル 100%
No.10	ブライダルサテン オーガンジースパンコール ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% ポリエステル 100%
No.11	ブライダルサテン パールチュールレース	ポリエステル 100% ポリエステル 100% 刺繍レーヨン 100%
No.12	ブライダルサテン パールチュールレース	ポリエステル 100% ポリエステル 100% 刺繍レーヨン 100%
No.13	ブライダルサテン シャンブレワッシャー	ポリエステル 100% ポリエステル 100%
No.14	ブライダルサテン オーガンジービーズレース	ポリエステル 100% ポリエステル 100% 刺繍レーヨン 100%
No.15	ブライダルサテン オーガンジーリボンレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% 刺繍 ポリエステル 50% レーヨン 100% ポリエステル 100%
No.16	ブライダルサテン ワッシャーオーガンジー オーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% ポリエステル 100%
No.17	ブライダルサテン オーガンジーリボンレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% ポリエステル 100%
No.18	ブライダルサテン ビーズレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% 刺繍レーヨン 100% ビーズ プラスチック ポリエステル 100%
No.19	ブライダルサテン ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100%
No.20	ウェディングサテン スパンコールレース	ポリエステル 100% ポリエステル 100%
No.21	ブライダルサテン ビーズコードレース ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% ポリエステル 100%
No.22	ブライダルサテン オーガンジーホログラムキャビア ポリエステルオーガンジー	ポリエステル 100% ポリエステル 100% ポリエステル 100%

3 結果および考察

2007年度に製作したウェディング・ドレス16点と2008年度に製作した22点のドレスについて、嗜好度を示した結果を図1 - 16で示している。

2007年度 作品

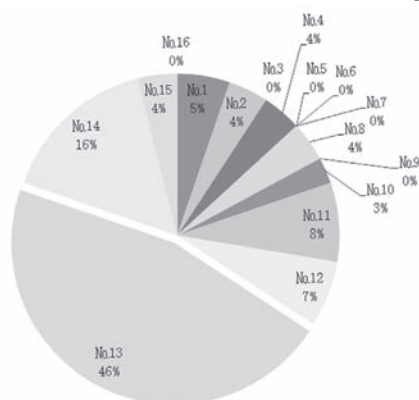


図 1 1番目に好きなドレス

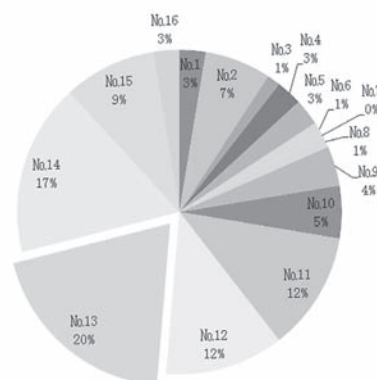


図 2 2番目に好きなドレス

2007年度の好きなドレスについて図1・2に示すが、1番目に好きなドレスとして、半数近い46%がNo.13のドレスを挙げており、非常に高い数値を得ている。次にNo.14のドレスが16%、No.11のドレスが8%であった。

2008年度 作品

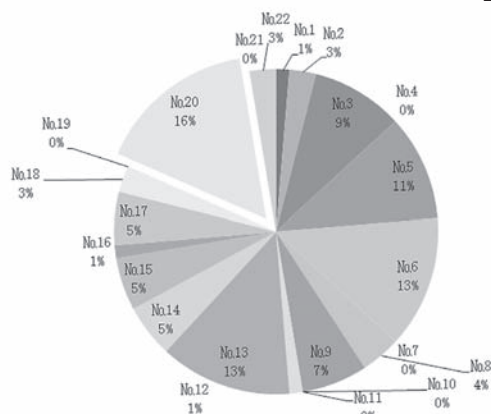


図 3 1番目に好きなドレス

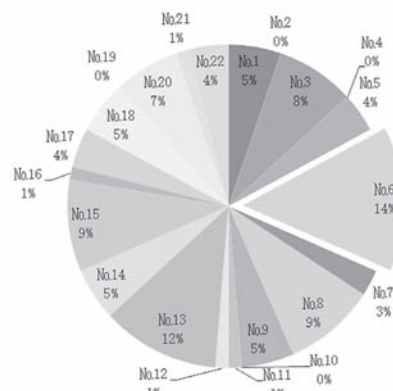


図 4 2番目に好きなドレス

2008年度の好きなドレスについては図3・4に示すが、1番目に好きなドレスとして、No.20のドレスを16%の学生が好んでいるが、特に高い数値ではないことが分かる。次いでNo.6とNo.13のドレスが同数の13%、No.5は11%であった。この場合22点のドレスについて、好みのデザインが分散し、各ドレスが同じように選ばれていることがわかる。

2007年度 作品 ドレスの評価

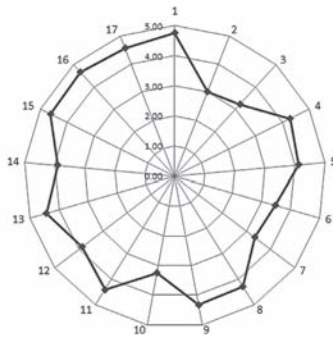


図 5 1番目に好きなドレス 1位

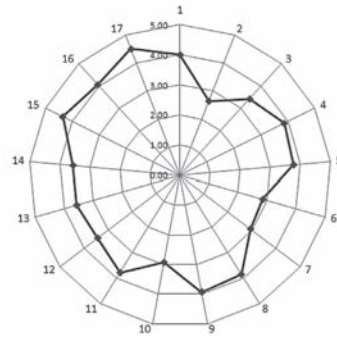


図 6 1番目に好きなドレス 2位

2007年度ドレスの評価について図5・6に示すが、1位に選ばれたNo.13のドレスは、スカート部分にオフ・ホワイトのスパーク・オーガンジーを用いている。やや張り感のある布地の特性を生かし、スカート部分全体に布地をつまみ、ふんわりとした表情を出す技法でつくられている。

やわらかく、ふんわりとした可愛いイメージのドレスに表現できたことで、可愛いデザインが非常に好きで、私も着たいドレスとして高い評価を得たことが分かる。その他の項目においても、温かい感じがして清楚で魅力的で華やかな感じがすると、高い数値を得ている。

2位に選ばれたNo.14のドレスについては、シワ加工が成されたやや生成りのワッシャー・オーガンジーをスカート部分に使用している。布地のもつイメージから柔らかい感じのデザインが好きであり、着たいドレスとして評価を得たと考えられる。

2008年度 作品 ドレスの評価

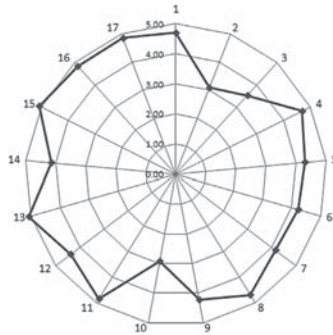


図 7 1番目に好きなドレス 1位

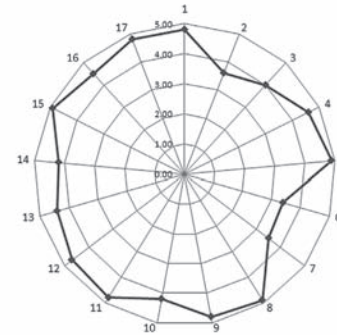


図 8 1番目に好きなドレス 2位

2008年度のドレスの評価として、1番目に好きなドレスに選ばれたNo.20について図7に示すが、ウェディング・ドレスは純白というイメージを覆した布地を使用している。光沢のあるピンクのспанコールと刺繍が施されたспанコールレースをスカートの裾部分にデザインしている。

布地のもつイメージから、非常に華やかな感じがして、デザインが好きであるとやや高い評価を得ていた。

2位に選ばれたNo.6のドレス（写真5）について図8に示すが、トップスにオーガンジー・спанコールレースを使い、スカート部分はポリエステル・オーガンジーをたっぷりのボリュームにしてデザインしている。優しく清楚な感じがするドレスであり、柔らかい感じで、私も着たいという項目に高い評価がみられた。

2007年度 作品 ドレス

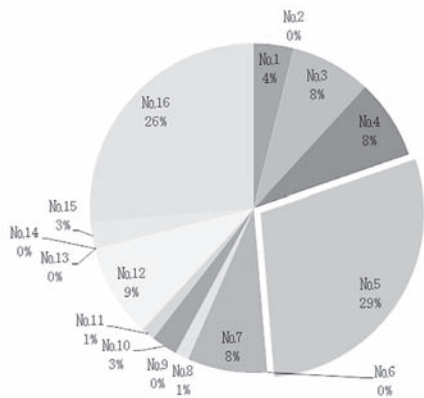


図 9 1 番目に嫌いなドレス

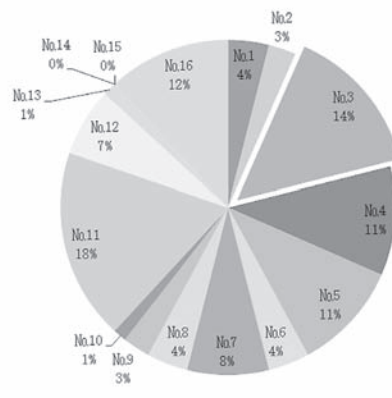


図 10 2 番目に嫌いなドレス

図9・10で示す2007年度の1番嫌いなドレスとして、No.5のドレスを29%と3割程の学生が挙げており、次にNo.16のドレスを26%とかなり高い数値であった。No.12のドレスでは9%と僅かではあるが嫌いと答えていた。

2008年度 作品 ドレス

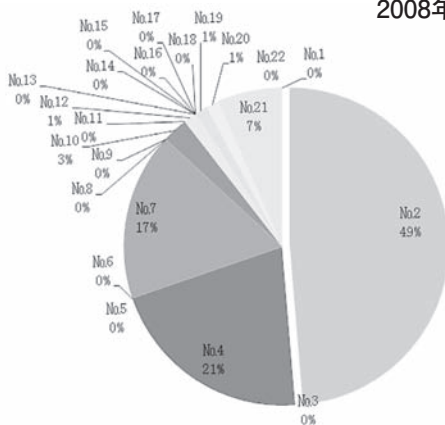


図 11 1 番目に嫌いなドレス

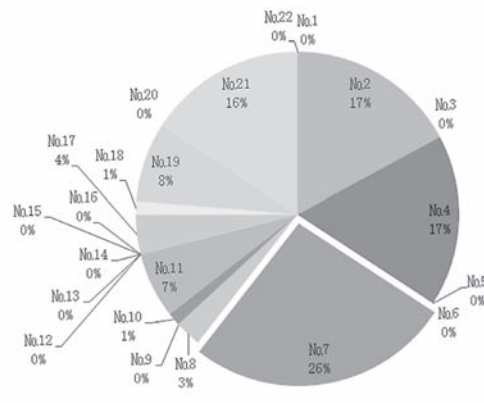


図 12 2 番目に嫌いなドレス

図11・12に示す2008年度 1番嫌いなドレスとして、No.2のドレスを49%と半数の学生が挙げており、次にNo.4のドレスを21%、No.7のドレスは17%と、それぞれのドレスにおいて、かなり多くの学生が嫌いであると答えている。

2007年度 作品 ドレスの評価

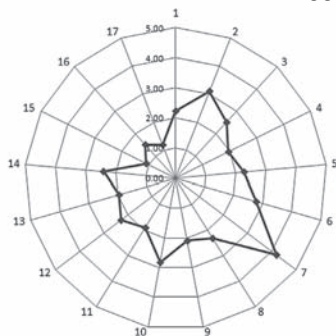


図 13 1 番目に嫌いなドレス 1 位

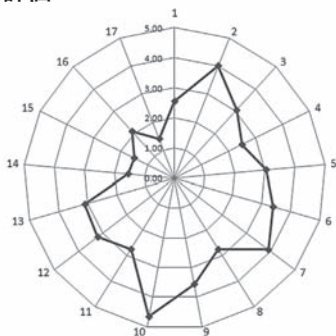


図 14 1 番目に嫌いなドレス 2 位

最も嫌いな数値が高かったNo.5のドレスを図13で示すが、このドレスの場合、製作者の好みを強調したデザインになっている。シャツカラーにボータイを結ぶという本人のこだわりを表現したデザインであることから、非常に個性的な感じがする、デザインが嫌い、硬い感じがして着たくない、嫌いなドレスとして一番高い評価であった。

次に嫌いなドレスの2位を図14で示すが、No.16の場合、製作者の体形を生かしたデザインであるが、評価してみると、非常に身体にフィットしている感じがして、体型がカバーできないことから、着たくないドレスの嫌いの評価が高かったと思える。

2008年度 作品 ドレスの評価

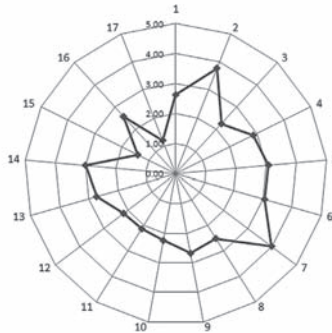


図 15 1番目に嫌いなドレス 1位

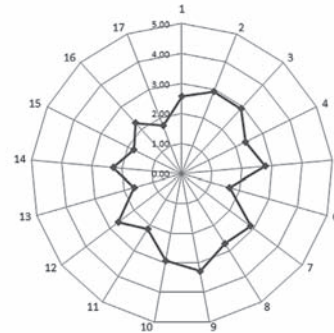


図 16 1番目に嫌いなドレス 2位

図15で示す、嫌いなドレス1位のNo.2の場合、製作者の強いこだわりを実現させたデザインであることから、非常に個性的で、奇抜な感じであるといった項目で数値が高く見られた。

ウェディング・ドレスに求めるイメージから乖離した、クラシックなデザインが非常に嫌いであり、着たくないドレスとして最も高い数値であることがわかる。

嫌いなドレス2位のNo.7のドレスを図16で示すが、嫌いなドレス1位に選ばれた場合と同じくエンパイア・シルエットにこだわりをもつ製作者の強い思い入れの入ったデザインであることから、デザインが地味で魅力的ではなく、落ち着いた感じでデザインが嫌いであると評価された。

2作品ともにウェディング・ドレスの華やかなイメージと相反するデザインとして評価され、着たくないドレスとして高い数値になったと考えられる。

2007年度に製作した16点と・2008年度に製作した22点のドレスについて、シルエット別に分類し、身長によるドレスの嗜好性について示した。(表4)

2007年度のドレスは、ベルライン・Aライン・マーメイドラインの3分類とし、2008度のドレスはベルライン・Aライン・マーメイドライン・エンパイアラインの4分類とした。

表4 被験者の身長(76名)

身長	割合
149以下	5.3%
150~154	18.4%
155~159	35.5%
160~164	34.2%
165~169	3.9%
170以上	2.6%
合計	100%

2007年度 作品 16点 3分類
 ベルライン No.2・No.3・No.5・No.6・No.9・No.10・No.13・No.14
 Aライン No.1・No.4・No.7・No.8・No.12・No.15
 マーメイドライン No.11・No.16

2008年度 作品 22点 4分類
 ベルライン No.1・No.2・No.3・No.6・No.8・No.10・No.13・No.14・No.15・No.17・No.20
 Aライン No.5・No.9・No.11・No.12・No.16・No.19・No.22
 マーメイドライン No.18・No.21
 エンパイアライン No.4・No.7

シルエット別身長による嗜好性 図17 - 図20-1

2007年 好きなドレスのシルエット

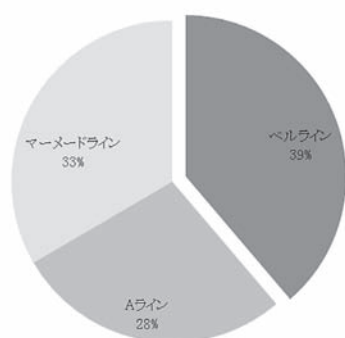


図17 シルエット

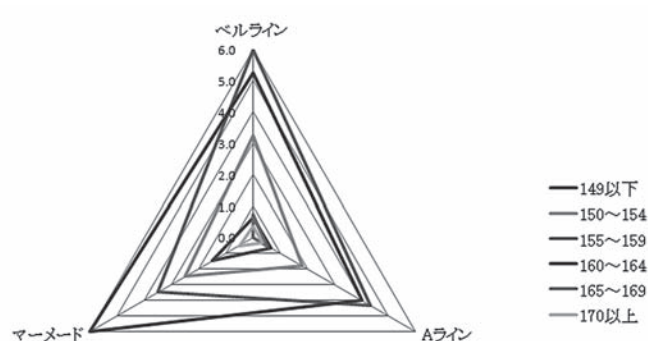


図17-1 身長別好みのシルエット

2007年度の好きなドレスのシルエットについて図17で示すが、ベルラインを好む学生が一番多く39%と4割近くみられた。次にマーメイドライン33%、Aライン28%と、それぞれに3割ほどの学生が好きであると答えている。

身長別好みのシルエットを図17-1で示した。ベルラインを好む学生の身長をみると155cm~159cmが一番多く、次に、やや身長が低い150cm~154cmの学生においても、オーソドックスなベルラインを好んでいることがわかる。

155cm～159cmの学生では、ベルラインに次いでAラインとマーメイドラインを好む傾向がみられた。身長が高い160cm～164cmと165cm～の学生は、マーメイドラインを好む傾向が多くみられるが、ベルラインやAラインのシルエットもそれぞれに好まれている。

2008年 好きなドレスのシルエット

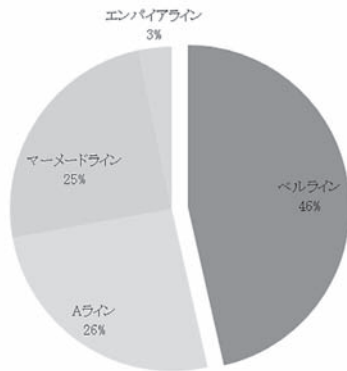


図 18 シルエット

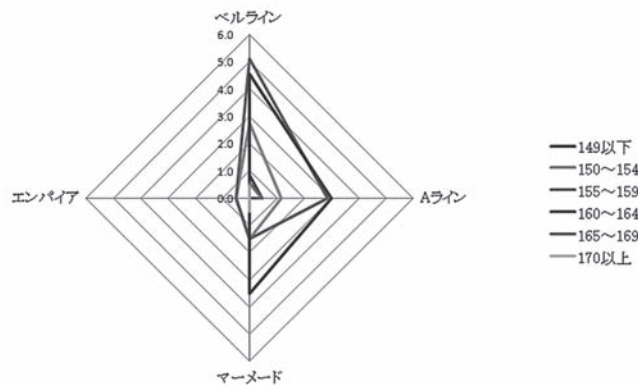


図 18-1 身長別好みのシルエット

2008年度の好きなドレスのシルエットについて図18で示すが、2007年度と同じく、ベルラインのシルエットを半数以上の46%が挙げており、非常に好まれていることがわかる。

次に(写真6)にみられるようなAラインのドレスが26%、マーメイドライン25%とほぼ同数挙げられているが、エンパイアラインは3%と僅かな数値であった。

身長別の好みを図18-1で示すが、身長の高低に関係なくいづれの身長でも、ベルラインを好む学生が多くみられた。次で155cm～159cmの身長の場合、Aラインを好む傾向がみられた。2007年度と同じく、身長が高い160cm～164cmの学生は、マーメイドラインを好んでいることがわかる。

2007年 嫌いなドレスのシルエット

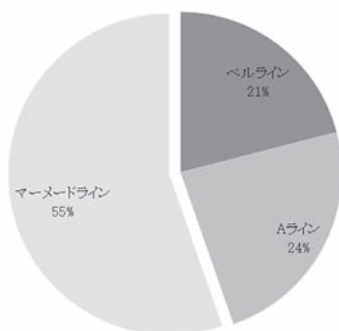


図 19 シルエット

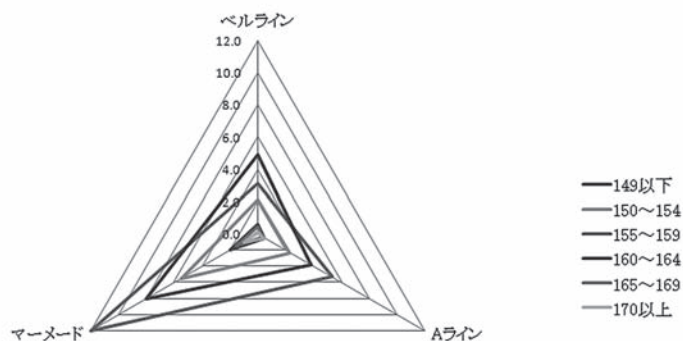


図 19-1 身長別好みのシルエット

2007年度の嫌いなシルエットを図19で示すが、体型をカバーできないデザインであることから、マーメイドラインと答えた学生が55%と半数以上みられた。次にAライン24%、ベルライン21%とほぼ近い2割程度の数値がみられた。

身長別に嫌いなシルエットを図19-1で示すが、150～155cm、155～159cm、160～164cmと身長に関係なく、マーメイドラインを嫌いなラインとして挙げている。逆に、160～164cmの身長の高い学生はベルラインを嫌う傾向にあることがわかる。

2008年 嫌いなドレスのシルエット

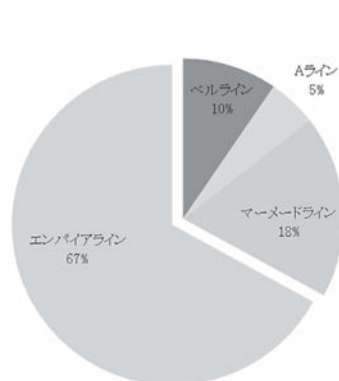


図 20 シルエット

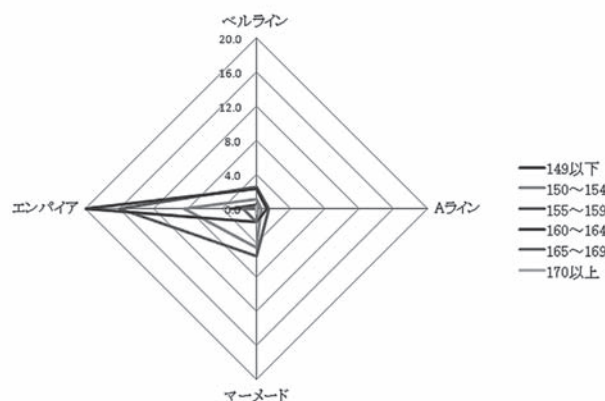


図 20-1 身長別好みのシルエット

2008年度の嫌いなシルエットを図20で示すが、エンパイアラインを67%と7割ほどの学生が嫌いであると答えており、かなり高い数値であると考えられる。次にマーメイドラインが18%みられたが、非常にシンプルなシルエットのエンパイアドレスや、着用者の体型が明確に表現されるマーメイドラインなどを好まない傾向であることがわかる。ベルラインは10%、Aラインは5%と低い数値であった。

身長別のシルエットを図20-1で示すが、身長に関係なく、エンパイアラインが嫌いであることが分かる。次にやや小柄な150~154cmと155~159cmの学生がマーメイドラインを挙げている。逆に160~164cmと身長が高い学生の場合、ベルラインを嫌う傾向がわずかではあるがみられた。

4 おわりに

今回は2007・2008年度に製作したウェディング・ドレス38点の嗜好性について報告したが、すべての作品に、製作者それぞれの想いが形となって表現されている。

2003年度に引き続き、今回の報告となったが、学生たちのウェディング・ドレスへの憧れは不変であることがわかる。

現在、日常着としてファスト・ファッションが主流の着こなしをしている若い女性たちであるが、一生に一回、晴れの舞台に身に着けたいと憧れ、夢みるウェディング・ドレスに求めるデザインは今後さらに多種多様になることと考えられる。

10代女子のウェディング・ドレスの好みをみると、可愛いデザインを好む傾向が非常に強く、ウエストにギャザーをいれた、ベル型のシルエットのドレスについて、ふわふわして、かわいいといったイメージで捉えられている。(写真2)

各年度において可愛いデザインが好まれ、着たいドレスとして高い評価であったが、反面、体型がリアルに表現されるフィットしたデザインについては、自分自身が着こなすことの難しさからか、好まれない傾向であることがわかった。(写真3)

ウェディング・ドレスを製作するために費やす正規の授業時間は、2年次、前・後期、135分の選択授業であるが、正規の時間内で収められる内容ではなく、空き時間や夏期休業など有効利用して、ようやくウェディング・ドレスが完成となる。

毎年、作品の教科発表として、ファッションショー形式でホテルを会場にして披露しているが、これまで人間総合学科6回、通算で21回を数える。(写真1)(写真4)

2007年度 作品発表



写真 1



写真 2



写真 3

2008年度 作品発表



写真 4



写真 5



写真 6

ここ数年、履修生全員がウェディング・ドレス製作を希望する傾向がみられるが、指導面では、ゆとり教育で育ってきた学生の資質に戸惑い、過去の学生ができていたことができない現実に直面し、試行錯誤を繰り返すなかで、ようやく作品完成に至っている。

2年次の学びのなかで、ウェディング・ドレスに挑戦し、自己目標を成し遂げたとき、とてつもない自信となり、到達までの貴重な経験は学生の糧として、残されるものと考えられる。

世界にひとつ、自分だけのウェディング・ドレスを自分の手で創り上げた達成感は、今後の生活に生かされ、学生それぞれに素晴らしい力となり、温かい心も育まれていることと信じている。

今後も2009・2010年度のウェディング・ドレスについて引き続き研究を進めていきたい。

終わりに、本調査にご協力いただきました本学の学生諸姉に心より御礼申し上げます。

参考文献

- 1 小川秀子「新潟青陵女子短期大学研究紀要」第33号、pp.13-25
- 2 成安造形短期大学紀要 Vol.33 1995年 pp.87-97
- 3 成安造形短期大学紀要 Vol.34 1996年 pp.119-127
- 4 成安造形短期大学紀要 Vol.35 1997年 pp.113-128
- 5 杉野女子大学杉野女子短期大学部紀要 30 pp.1-13